

問 8-2 市中病院と答えた方は研修終了後の予定はどれですか（○印は1つ）

1 大学病院で勤務・研修する
2 現在、研修している市中病院で勤務・研修する →※この方は問 8-3 へ
3 現在研修しているのとは別の市中病院で勤務・研修する→※この方は問 8-3 へ
4 臨床系大学院に進学する
5 基礎・社会医学系大学院に進学する
6 基礎・社会医学系研究者（大学院生をのぞく）になる
7 開業する（開業医を引き継ぐ場合も含む）
8 保健所等、医療行政の仕事につく
9 医療・研究以外の仕事につく（具体的に ）
10 海外に勤務・留学する
11 まだ決まっていない
12 その他（ ）

問 8-3 ※（研修終了後市中病院で勤務・研修予定）と答えた方への質問です。

その病院で勤務することは、大学医局の紹介ですか

1 はい	2 いいえ
------	-------

問 9 臨床研修修了後の勤務先（または研修先）を決定した理由は何ですか。あてはまる理由に○をつけてください（あてはまるもの全てに○印）

1 「いわゆる後期研修」プログラムが優れている	11 実家に近い
2 出身大学である	12 出身地である
3 優れた指導者がいる	13 配偶者の居住地・勤務地である
4 現在研修している	14 大都市である
5 給料・処遇がよい	15 子供の教育を考えた
6 施設・設備が充実している	16 へき地医療への情熱を持っている
7 専門医取得につながる	17 先輩医師の紹介
8 医学博士号が取れる	18 大学からの派遣
9 臨床研究が優れている	19 その他（ ）
10 基礎研究が優れている	

問 10 臨床研修修了後に勤務・研修する都道府県はどこですか

1 （ ）都道府県	2 わからない
-----------	---------

【専門としたい診療科】

問 11 臨床研修修了後に専門とする特定の診療科（標榜科による）等を決めていますか

1 決めていない

2 決めている …… →

右の囲みの中から
○印を1つ付けて
問 11-1, 2へ

問 12

1 内科	12 整形外科	23 泌尿器科
2 心療内科	13 形成外科	24 リハビリテーション（理学療法）科
3 呼吸器科	14 美容外科	25 放射線科
4 消化器科	15 脳神経外科	26 麻酔科
5 循環器科	16 呼吸器外科	27 救命救急
6 アレルギー科	17 心臓血管外科	28 総合診療科
7 リウマチ科	18 小児外科	29 病理
8 小児科	19 産婦人科	30 緩和ケア部門
9 精神科	20 眼科	31 医療行政職
10 神経内科	21 耳鼻咽喉科	32 基礎系
11 外科	22 皮膚科	33 その他（ ）

▶ 問 11-1 問 11 で “2「決めている」” と回答した場合、その診療科を選んだ理由はなぜですか
(あてはまるもの全てに○印)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 学問的に興味があるから | 6 いい指導医がいたから |
| 2 やりがいがあるから | 7 親や親類がその科だから |
| 3 収入がよいから | 8 先輩や教授に誘われたから |
| 4 自由な時間が多いから | 9 その他（ ） |
| 5 訴訟が少ないから | |

問 11-2 研修前に、どの診療科を専門としたいと考えていましたか。

(あてはまる診療科全てに○印)

1 内科	12 整形外科	23 泌尿器科
2 心療内科	13 形成外科	24 リハビリテーション（理学療法）科
3 呼吸器科	14 美容外科	25 放射線科
4 消化器科	15 脳神経外科	26 麻酔科
5 循環器科	16 呼吸器外科	27 救命救急
6 アレルギー科	17 心臓血管外科	28 総合診療科
7 リウマチ科	18 小児外科	29 病理
8 小児科	19 産婦人科	30 緩和ケア部門
9 精神科	20 眼科	31 医療行政職
10 神経内科	21 耳鼻咽喉科	32 基礎系
11 外科	22 皮膚科	33 その他（ ）

問 11-2-1 研修前に専門としたいと思っていた診療科が変わった場合、

その理由はなんですか (あてはまるもの全てに○印)

- | |
|------------------------------------|
| 1 現在専門としたいと思っている診療科を研修してみて興味がわいたから |
| 2 学問的に興味がないから |
| 3 やりがいがないから |
| 4 収入がよくないから |
| 5 自由な時間が少ない |
| 6 訴訟が多いから |
| 7 いい指導医がいなかったから |
| 8 何となく |
| 9 その他 () |

【専門医等の取得について】

問 12 あなたは専門医・認定医の資格を取りたいと思いますか (○印は1つ)

- | | | |
|--------|----------|----------|
| 1 そう思う | 2 そう思わない | 3 決めていない |
|--------|----------|----------|

問 13 あなたは医学博士号を取りたいと思いますか (○印は1つ)

- | | | |
|--------|----------|----------|
| 1 そう思う | 2 そう思わない | 3 決めていない |
|--------|----------|----------|

IV. 臨床研修で身に付いた基本的な臨床知識、技術、態度について

問 14 臨床研修で身に付いた臨床知識、技術、態度についてお尋ねします。以下の項目について A、B、C、D のうち、あてはまる記号を○で囲んでください

- | | |
|------------------|-----------------------|
| A 確実にできる、自信がある | C あまり自信がない、ひとりでは不安である |
| B だいたいできる、たぶんできる | D できない |

1 患者の解釈モデルを聞きだすことができる	A	B	C	D
2 患者の病歴を系統的に聴取できる	A	B	C	D
3 患者と非言語的コミュニケーションができる	A	B	C	D
4 バイタルサインを取ることができる	A	B	C	D
5 皮膚の所見を記述できる	A	B	C	D
6 眼底所見により、動脈硬化の有無を判定できる	A	B	C	D
7 鼓膜を観察し、異常の有無を判定できる	A	B	C	D
8 甲状腺の触診ができる	A	B	C	D
9 心尖拍動を触知できる	A	B	C	D
10 心雑音を聴取し、記載できる	A	B	C	D
11 ラ音を聴取し、記載できる	A	B	C	D
12 筋性防御の有無を判定できる	A	B	C	D
13 直腸診で前立腺の異常を判断できる	A	B	C	D
14 妊娠の初期兆候を把握できる	A	B	C	D
15 双手診により女性付属器の腫脹を触知できる	A	B	C	D
16 関節可動域を検査できる	A	B	C	D
17 髄膜刺激所見をとることができる	A	B	C	D
18 小児の精神運動発達の異常を判断できる	A	B	C	D
19 うつ病の診断基準を述べることができる	A	B	C	D
20 骨折、脱臼、捻挫の鑑別診断ができる	A	B	C	D
21 尿沈査の鏡検で、赤血球、白血球、円柱を区別できる	A	B	C	D
22 便の潜血反応を実施し、結果を解釈することができる	A	B	C	D
23 血液ガス分析の適応が判断でき、結果の解釈ができる	A	B	C	D
24 血算・白血球分画検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる	A	B	C	D
25 血液生化学的検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる	A	B	C	D
26 血液凝固機構に関する検査を指示し、結果を判定できる	A	B	C	D
27 簡易検査（血糖、電解質、尿素窒素など）の適応が判断でき、結果の解釈ができる	A	B	C	D
28 血液免疫血清学的検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる	A	B	C	D
29 内分泌学的検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる	A	B	C	D
30 グラム染色を行い、結果の解釈ができる	A	B	C	D

31	髄液検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる	A	B	C	D
32	心電図検査を自ら実施し、不整脈の鑑別診断ができる	A	B	C	D
33	肺機能検査で閉塞性換気障害の判定ができる	A	B	C	D
34	超音波検査を自ら実施し、胆管拡張の判定ができる	A	B	C	D
35	胸部単純 X 線でシルエットサインを判定できる	A	B	C	D
36	腹部単純 X 線でイレウスを判定できる	A	B	C	D
37	胸部 CT で肺癌による所見を見出すことができる	A	B	C	D
38	頭部 MRI 検査の適応が判断でき、脳梗塞を判定できる	A	B	C	D
39	手術の手洗いが適切にできる	A	B	C	D
40	静脈血採血が正しくできる	A	B	C	D
41	動脈血採血が正しくできる	A	B	C	D
42	血液型クロスマッチを行い、結果の判定ができる	A	B	C	D
43	輸液の種類と適応を挙げ、輸液の量を決定できる	A	B	C	D
44	腰椎穿刺を実施できる	A	B	C	D
45	導尿法を実施できる	A	B	C	D
46	抗菌薬の作用・副作用を理解し、処方できる	A	B	C	D
47	局所浸潤麻酔とその副作用に対する処置が行える	A	B	C	D
48	傷病の基本的処置として、デブリードマンができる	A	B	C	D
49	皮膚縫合法を実施できる	A	B	C	D
50	術後起こりうる合併症及び異常に対して基本的な対処ができる	A	B	C	D
51	術前患者の不安に対し、心理的配慮をした処置ができる	A	B	C	D
52	心マッサージができる	A	B	C	D
53	気管挿管ができる	A	B	C	D
54	レスピレーターを装着し、調節できる	A	B	C	D
55	電氣的除細動の適応を挙げ、実施できる	A	B	C	D
56	救急患者の重症度および緊急度を判断できる	A	B	C	D
57	ショックの診断と治療ができる	A	B	C	D
58	末期患者の家族に病気を説明し、家族の心理的不安を受け止めることができる	A	B	C	D
59	在宅医療を希望する末期患者のために、環境整備を指導できる	A	B	C	D
60	緩和ケア（WHO 方式がん疼痛治療法を含む）のチーム医療に参加できる	A	B	C	D
61	患者の身体的側面だけでなく、心理社会的側面に配慮した治療ができる	A	B	C	D
62	医療費や社会福祉サービスに関する患者、家族の相談に応じ、解決法を指導できる	A	B	C	D
63	インフォームドコンセントをとることが実施できる	A	B	C	D
64	指導医や専門医に適切なタイミングでコンサルテーションができる	A	B	C	D
65	糖尿病患者への健康教育（健康相談および指導）ができる	A	B	C	D
66	日常よく行う処置、検査等の保険点数を知っている	A	B	C	D
67	ソーシャルワーカーの役割を理解し、協同して患者ケアを行える	A	B	C	D

68	禁煙指導ができる	A	B	C	D
69	患者の知識や関心のレベルに応じた健康教育ができる	A	B	C	D
70	在宅医療の適応の判断ができる	A	B	C	D
71	地域の医療資源を活用し、入院患者の退院後も継続性のある医療を提供できるよう調整することができる	A	B	C	D
72	社会福祉施設等の役割について理解し、連携をとることができる	A	B	C	D
73	診療上湧き上がってきた疑問点について、Medline で文献検索ができる	A	B	C	D
74	カンファレンス等で簡潔に受持患者のプレゼンテーションできる	A	B	C	D
75	診療録（退院時サマリーを含む）を POS (Problem Oriented System) に従って記載し管理できる	A	B	C	D
76	研究デザインを理解して、論文を読むことができる	A	B	C	D
77	学会で症例報告ができる	A	B	C	D
78	データの種類に応じて適切な統計学的解析ができる	A	B	C	D
79	医療上の安全確認の基本的な考え方を理解し、実施できる	A	B	C	D
80	医療事故防止及び事故後の対処について、マニュアルなどに沿って行動できる	A	B	C	D
81	院内感染対策(Standard Precautions を含む)の基本を理解し、実施できる	A	B	C	D
82	高齢者の聴力・視力・認知面での障害の有無に配慮した、病歴聴取を行うことができる	A	B	C	D
83	高齢者の症状が非特異的、非典型的であることを理解して、身体所見をとることができる	A	B	C	D
84	高齢者の身体的、精神的、社会的活動性をできるだけ良好に維持するような治療法を提示することができる	A	B	C	D
85	小児の精神運動発達の異常を判断できる	A	B	C	D
86	小児の採血、点滴ができる	A	B	C	D
87	患児の身体的苦痛のみならず、精神的ケアにも配慮できる	A	B	C	D
88	患児の年齢や理解度に応じた説明ができる	A	B	C	D
89	代表的な精神科疾患について、診断および治療ができる	A	B	C	D
90	精神科領域の薬物治療に伴うことの多い障害について理解し、適切な検査・処置ができる	A	B	C	D
91	精神科コ・メディカルスタッフ (PSW 等) の業務を理解し、連携してケアを行うことができる	A	B	C	D
92	地域の精神保健福祉に関する支援体制状況に関する知識を持ち、適切な連携をとることができる	A	B	C	D
93	守秘義務を果たし、プライバシーへの配慮ができる	A	B	C	D
94	患者の基本的権利について説明できる	A	B	C	D
94	自己決定できない患者での代理決定について判断できる	A	B	C	D
95	診療計画(診断、治療、患者・家族への説明を含む)を作成できる	A	B	C	D
96	診療ガイドラインやクリティカルパスを理解し活用できる	A	B	C	D
97	基本的な臨床知識・技術について後輩を指導することができる	A	B	C	D
98	医療人として必要な姿勢・態度について後輩のロールモデルになることができる	A	B	C	D

V 臨床研修での経験症例数について

問 15 あなたの経験症例数をお尋ねします。以下の項目について、2年の研修期間中、入院患者あるいは外来患者で、あなたの経験した数についてあてはまるもの（症例数）を○で囲んでください

問 15-1 症状・病態について

1	不眠	0例	1~5例	6~10例	11例~
2	浮腫	0例	1~5例	6~10例	11例~
3	リンパ節腫脹	0例	1~5例	6~10例	11例~
4	発疹	0例	1~5例	6~10例	11例~
5	発熱	0例	1~5例	6~10例	11例~
6	頭痛	0例	1~5例	6~10例	11例~
7	めまい	0例	1~5例	6~10例	11例~
8	視力障害、視野狭窄	0例	1~5例	6~10例	11例~
9	結膜の充血	0例	1~5例	6~10例	11例~
10	胸痛	0例	1~5例	6~10例	11例~
11	動悸	0例	1~5例	6~10例	11例~
12	呼吸困難	0例	1~5例	6~10例	11例~
13	咳・痰	0例	1~5例	6~10例	11例~
14	嘔気・嘔吐	0例	1~5例	6~10例	11例~
15	腹痛	0例	1~5例	6~10例	11例~
16	便通異常(下痢、便秘)	0例	1~5例	6~10例	11例~
17	腰痛	0例	1~5例	6~10例	11例~
18	四肢のしびれ	0例	1~5例	6~10例	11例~
19	血尿	0例	1~5例	6~10例	11例~
20	排尿障害(尿失禁・排尿困難)	0例	1~5例	6~10例	11例~
21	不安・抑うつ	0例	1~5例	6~10例	11例~
22	心肺停止	0例	1~5例	6~10例	11例~
23	ショック	0例	1~5例	6~10例	11例~
24	意識障害	0例	1~5例	6~10例	11例~
25	脳血管障害	0例	1~5例	6~10例	11例~
26	急性心不全	0例	1~5例	6~10例	11例~
27	急性冠症候群	0例	1~5例	6~10例	11例~
28	急性腹症	0例	1~5例	6~10例	11例~
29	急性消化管出血	0例	1~5例	6~10例	11例~
30	外傷	0例	1~5例	6~10例	11例~
31	急性中毒	0例	1~5例	6~10例	11例~
32	誤飲、誤嚥	0例	1~5例	6~10例	11例~
33	熱傷	0例	1~5例	6~10例	11例~
34	自殺企図	0例	1~5例	6~10例	11例~

問 15-2 疾患について（複数の疾患を含む項目は、そのひとつでも経験すれば1例と数え、合計数をご回答ください）

35	貧血（鉄欠乏性貧血、二次性貧血）	0例	1～5例	6～10例	11例～
36	脳・脊髄血管障害（脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血）	0例	1～5例	6～10例	11例～
37	湿疹・皮膚炎群（接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎）	0例	1～5例	6～10例	11例～
38	蕁麻疹	0例	1～5例	6～10例	11例～
39	皮膚感染症	0例	1～5例	6～10例	11例～
40	骨折	0例	1～5例	6～10例	11例～
41	関節の脱臼、亜脱臼、捻挫、靭帯損傷	0例	1～5例	6～10例	11例～
42	骨粗鬆症	0例	1～5例	6～10例	11例～
43	脊柱障害（腰椎椎間板ヘルニア）	0例	1～5例	6～10例	11例～
44	心不全	0例	1～5例	6～10例	11例～
45	狭心症、心筋梗塞	0例	1～5例	6～10例	11例～
46	不整脈（主要な頻脈性、徐脈性不整脈）	0例	1～5例	6～10例	11例～
47	動脈疾患（動脈硬化症、大動脈瘤）	0例	1～5例	6～10例	11例～
48	高血圧症（本態性、二次性高血圧症）	0例	1～5例	6～10例	11例～
49	呼吸不全	0例	1～5例	6～10例	11例～
50	呼吸器感染症（急性上気道炎、気管支炎、肺炎）	0例	1～5例	6～10例	11例～
51	閉塞性・拘束性肺疾患（気管支喘息、気管支拡張症）	0例	1～5例	6～10例	11例～
52	食道・胃・十二指腸疾患（食道静脈瘤、胃癌、消化性潰瘍、胃・十二指腸炎）	0例	1～5例	6～10例	11例～
53	小腸・大腸疾患（イレウス、急性虫垂炎、痔核・痔瘻）	0例	1～5例	6～10例	11例～
54	肝疾患（ウイルス性肝炎、急性・慢性肝炎、肝硬変、肝癌、アルコール性肝障害、薬物性肝障害）	0例	1～5例	6～10例	11例～
55	横隔膜・腹壁・腹膜（腹膜炎、急性腹症、ヘルニア）	0例	1～5例	6～10例	11例～
56	腎不全（急性・慢性腎不全、透析）	0例	1～5例	6～10例	11例～
57	泌尿器科的腎・尿路疾患（尿路結石、尿路感染症）	0例	1～5例	6～10例	11例～
58	妊娠分娩（正常妊娠、流産、早産、正常分娩、産科出血、乳腺炎、産褥）	0例	1～5例	6～10例	11例～
59	男性生殖器疾患（前立腺疾患、勃起障害、精巣腫瘍）	0例	1～5例	6～10例	11例～
60	糖代謝異常（糖尿病、糖尿病の合併症、低血糖）	0例	1～5例	6～10例	11例～
61	高脂血症	0例	1～5例	6～10例	11例～
62	屈折異常（近視、遠視、乱視）	0例	1～5例	6～10例	11例～
63	角結膜炎	0例	1～5例	6～10例	11例～
64	白内障	0例	1～5例	6～10例	11例～
65	緑内障	0例	1～5例	6～10例	11例～
66	中耳炎	0例	1～5例	6～10例	11例～
67	アレルギー性鼻炎	0例	1～5例	6～10例	11例～
68	認知障害（血管性認知障害を含む）	0例	1～5例	6～10例	11例～
69	うつ病	0例	1～5例	6～10例	11例～

70	統合失調症	0例	1～5例	6～10例	11例～
71	身体表現性障害、ストレス関連障害	0例	1～5例	6～10例	11例～
72	ウイルス感染症(インフルエンザ、麻疹、風疹、水痘、ヘルペス、流行性耳下腺炎)	0例	1～5例	6～10例	11例～
73	細菌感染症(ブドウ球菌、MRSA、A群連鎖球菌、クラミジア)	0例	1～5例	6～10例	11例～
74	結核	0例	1～5例	6～10例	11例～
75	慢性関節リウマチ	0例	1～5例	6～10例	11例～
76	アレルギー疾患	0例	1～5例	6～10例	11例～
77	熱傷	0例	1～5例	6～10例	11例～
78	小児けいれん性疾患	0例	1～5例	6～10例	11例～
79	小児ウイルス感染症(麻疹、流行性耳下腺炎、水痘、突発性発疹、インフルエンザ)	0例	1～5例	6～10例	11例～
80	小児喘息	0例	1～5例	6～10例	11例～
81	高齢者の栄養摂取障害	0例	1～5例	6～10例	11例～
82	老年症候群(誤嚥、転倒、失禁、褥瘡)	0例	1～5例	6～10例	11例～

問 15-3 医療記録について

83	死亡診断書	0通	1～5通	6～10通	11通～
84	死体検案書	0通	1・2通	3・4通	5通～
85	CPCレポート(剖検報告)	0例	1・2例	3・4例	5例～
86	紹介状	0通	1～5通	6～10通	11通～

VI. 研修におけるコンピューターなど情報ツールの利用状況について

問 16 診療において必要な情報を得るために利用した経験のある媒体（1から5）について、あてはまるもの全ての番号に○をしてください。また、現在診療で利用している頻度（AからG）もお答えください。

	1ヶ月に 1回未満	1ヶ月に 1～3回	1週間に 1～3回	1週間に 4～6回	1日に 1～2回	1日に 3回以上	現在利用 してない
1 コンピューター (インターネット接続あり)	A	B	C	D	E	F	G
2 コンピューター (インターネット接続なし)	A	B	C	D	E	F	G
3 紙媒体(雑誌・論文・教科書など)	A	B	C	D	E	F	G
4 同僚または指導医	A	B	C	D	E	F	G
5 PDA*	A	B	C	D	E	F	G
6 その他 ()	A	B	C	D	E	F	G

* PDA(Personal Digital Assistance)とは：

手のひらに収まるサイズの個人用携帯端末で、ソフトウェアをインストールして利用できるもの。インターネット接続が可能かどうかは問わない。(コンピューター機能搭載の携帯電話を含み、電話機能のみの携帯は含まない。)

問 17～問 21 は、「診療でコンピューター（インターネット接続あり）を利用している方」にお聞きします。診療でコンピューター（インターネット接続あり）を利用されない方は問 21 へお進みください。

問 17 あなたは病院で、必要なときにコンピューター（インターネット接続あり）を十分に利用できますか？

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 十分利用できる | 2 まあまあ利用できる |
| 3 あまり利用できない | 4 ほとんど利用できない |
| 5 まったくできない | |

問 18 診療においてコンピューター（インターネット接続あり）を現在使用している場所（1から5）について、あてはまるもの全ての番号に○をしてください。また、使用頻度（AからF）についてもお答えください。

	1ヶ月に 1回未満	1ヶ月に 1～3回	1週間に 1～3回	1週間に 4～6回	1日に 1～2回	1日に 3回以上
1 病棟	A	B	C	D	E	F
2 外来	A	B	C	D	E	F
3 救急外来	A	B	C	D	E	F
4 自宅	A	B	C	D	E	F
5 その他 ()	A	B	C	D	E	F

問 19 診療でのコンピューター（インターネット接続あり）の利用目的（1 から 7）について、あてはまるもの全ての番号に○をしてください。また、使用頻度（A から F）についてもお答えください。

	1 ヶ月に 1 回未満	1 ヶ月に 1～3 回	1 週間に 1～3 回	1 週間に 4～6 回	1 日に 1～2 回	1 日に 3 回以上
1 MEDLINE (PubMed など)の検索	A	B	C	D	E	F
2 EBM ガイドラインを調べる	A	B	C	D	E	F
3 電子教科書を調べる	A	B	C	D	E	F
4 電子ジャーナルを調べる	A	B	C	D	E	F
5 薬品情報の検索	A	B	C	D	E	F
6 電子メールの利用	A	B	C	D	E	F
7 その他 ()	A	B	C	D	E	F

問 20 診療でコンピューター（インターネット接続あり）を使用する上で障害と思う項目番号全てに○をつけてください。

1 病院が提供してくれない	2 必要性を感じない	3 利用方法を学ぶ時間がない
4 利用方法を学ぶ機会がない	5 費用が高い	6 電子媒体に不慣れである
7 管理維持が大変である	8 持ち運びにくい	9 セキュリティが心配
9 その他 ()		

問 21 コンピューター（インターネット接続あり）は診療に役立つと思いますか？

1 とても役立つ	2 少し役立つ
3 あまり役立たない	4 まったく役立たない
5 どちらでもない	

問 22 あなたの病院のコンピューター（インターネット接続あり）環境に満足していますか？

1 とても満足している	2 少し満足している
3 あまり満足していない	4 まったく満足していない
5 どちらでもない	

問 23～問 26 は、「PDA を利用している方」にお聞きします。PDA 利用していない方は終了です。

問 23 診療において最近の PDA の使用頻度についてお答えください。

1 だんだん使用頻度が増えてきた	2 使用頻度はあまり変わらない
3 だんだん使用頻度が減ってきた	4 わからない

問 24 診療のための PDA の利用目的 (1 から 10) について、あてはまるもの全ての番号に○をしてください。また、使用頻度 (A から F) についてもお答えください。

	1 ヶ月に 1 回未満	1 ヶ月に 1~3 回	1 週間に 1~3 回	1 週間に 4~6 回	1 日に 1~2 回	1 日に 3 回以上
1 計算を行う	A	B	C	D	E	F
2 薬品情報の検索	A	B	C	D	E	F
3 医療情報の検索	A	B	C	D	E	F
4 各種 EBM ガイドラインの検索・活用	A	B	C	D	E	F
5 患者申し送り	A	B	C	D	E	F
6 論文を読む	A	B	C	D	E	F
7 教科書で調べる	A	B	C	D	E	F
8 電子ジャーナルの検索・閲覧	A	B	C	D	E	F
9 電子メールの利用	A	B	C	D	E	F
10 その他 ()	A	B	C	D	E	F

問 25 診療のための PDA を現在使用している場所 (1 から 5) について、あてはまるもの全ての番号に○をしてください。また、使用頻度 (A から F) についてもお答えください。

	1 ヶ月に 1 回未満	1 ヶ月に 1~3 回	1 週間に 1~3 回	1 週間に 4~6 回	1 日に 1~2 回	1 日に 3 回以上
1 病棟	A	B	C	D	E	F
2 外来	A	B	C	D	E	F
3 救急外来	A	B	C	D	E	F
4 自宅	A	B	C	D	E	F
5 その他 ()	A	B	C	D	E	F

問 26 診療において PDA を使用する上で障害と思う項目番号全てに○をつけてください。

1 病院が提供してくれない	2 必要性を感じない	3 利用方法を学ぶ時間がない
4 利用方法を学ぶ機会がない	5 費用が高い	6 電子媒体に不慣れである
7 管理維持が大変である	8 持ち運びにくい	9 セキュリティが心配
9 その他 ()		

***** 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。*****

資料 3 病院用

平成 19 年度 臨床研修に関する調査

厚生労働科学研究班：「新医師臨床研修制度の評価に関する調査研究」
 <主任研究者：福井次矢(聖路加国際病院院長)>
 同：「卒前教育から生涯教育を通じた医師教育の在り方に関する研究」
 <主任研究者：篠崎英夫(国立保健医療科学院院長)>

【記入上の注意】

1. この調査票は病院の管理者の方がご記入ください。
2. 調査票は、同封の返信用封筒を使用して 『平成 20 年 2 月 28 日 (木)』までに**研修医用調査と共に**ご返送ください。ご回答いただきました内容については、次のように取り扱います。
 - ① 調査目的以外には使用いたしません。
 - ② 統計的に処理し、事業所名等が特定できないように配慮します。
 - ③ 自由記述の内容も、個々の回答者が特定されないよう配慮し、データ化します。
 - ④ 調査の拒否や、調査項目の一部への回答拒否があっても、そのことで不利益が生ずることはありません。
 - ⑤ 調査結果は、報告書として公表されます。

なお、調査内容や実施の方法についてご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

<アンケート内容に関する問い合わせ先>

〒100-8916

東京都千代田区霞ヶ関 1-2-2 厚生労働省 医政局 医事課 医師臨床研修推進室

TEL 03-5253-1111(内線 2568) FAX 03-3591-9072

I. 基本事項

問1 貴院の形態	1 臨床研修病院 → (1 単独型 2 管理型) 2 大学附属病院		
問2 所在地	都道府県	問3 病院名	
問4 貴院の規模 (病床数)	1 100床未満 2 100床以上300床未満 3 300床以上500床未満	4 500床以上700床未満 5 700床以上900床未満 6 900床以上	

(裏面につづく)

Ⅱ 研修プログラムの作成等

問5 研修プログラムの特色について該当するものを選択してください

(あてはまるもの全てに○印)

- | | |
|----------------|------------------------------|
| 1 内科研修を充実 | 9 選択期間を長く設けている |
| 2 外科研修を充実 | 10 他職種の業務も経験するようにしている |
| 3 救急部門の研修を充実 | 11 特にプライマリ・ケアの修得に力を入れている |
| 4 小児科研修を充実 | 12 特に専門医研修につながるような研修に力を入れている |
| 5 産婦人科研修を充実 | 13 特に医師としての人格かん養に力を入れている |
| 6 精神科研修を充実 | 14 臨床研究などの学術活動に力を入れる |
| 7 地域保健・医療研修を充実 | 15 その他() |
| 8 へき地・離島研修を充実 | |

問6 指導医の処遇・業務改善について、何か改善方策を講じていますか

- | | | |
|------|-------|-------|
| 1 はい | 2 検討中 | 3 いいえ |
|------|-------|-------|

問6-1 問6で“1はい”または“2検討中”と回答した場合、その方策についてお答えください (あてはまるもの全てに○印)

- | | | |
|-----------|--------------|----------|
| 1 勤務体制の調整 | 3 指導医の増員 | 5 その他() |
| 2 指導手当の拡充 | 4 指導医講習会への派遣 | |

問7 指導医講習会の開催指針(H16.3.18)に則った講習会に参加した指導医は、平成20年2月1日現在、何人いますか

現員	()名
----	------

(平成20年2月1日現在)

*** 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。***

Ⅲ 臨床研修に関する調査報告

目次

1. 平成 19 年度 「臨床研修に関する調査」の概要	39
2. 研修 2 年次生分結果(通常版)	40
1) 回答の概況	40
2) 質問項目の回答集計結果	41
3. 研修 2 年次生分結果(拡大版)	59
1) 回答の概況	59
2) 質問項目の回答集計結果	60
3) 追加1: 基本的臨床能力の修得状況の 3 年間の推移	194
4) 追加2: 症例経験数の 3 年間の推移	245
4. 病院用結果	275
1) 回答の概況	275
2) 質問項目の回答集計結果	276

1. 調査の概要

【調査の目的】

新医師臨床研修制度の効果等を検証・分析するための基礎となるデータを収集するため、臨床研修病院及び研修医に対し、調査を行うもの。

厚生労働省科学研究費補助金「新医師臨床研修制度の評価に関する調査研究」班（主任研究者：福井次矢（聖路加国際病院））と「卒前教育から生涯教育を通じた医師教育の在り方に関する研究」班（国立保険医療科学院）の合同調査として実施した。

【調査対象】

単独及び管理型臨床研修病院

単独及び管理型相当大学病院（合計で 1091 施設）

当該病院の研修プログラムに在籍する臨床研修医

（1 年次 8094 名、2 年次 8300 名 計 16394 名）

【調査内容】

共通質問（全病院、全研修医 1 年次、2 年次）

- 研修の満足度、研修修了後の進路など

追加質問（2 年次研修医 5 人に 1 人）

- 知識、技術等の修得状況など

【実施時期】

平成 20 年 3 月（配布）

2. 研修2年次生分結果(通常版)

1) 回答の概況

(1) 性別

性別	人数	割合 (%)
男性	1848 人	65.9%
女性	951 人	33.8%
不明	7 人	0.2%
全体	2806 人	

(2) 年齢

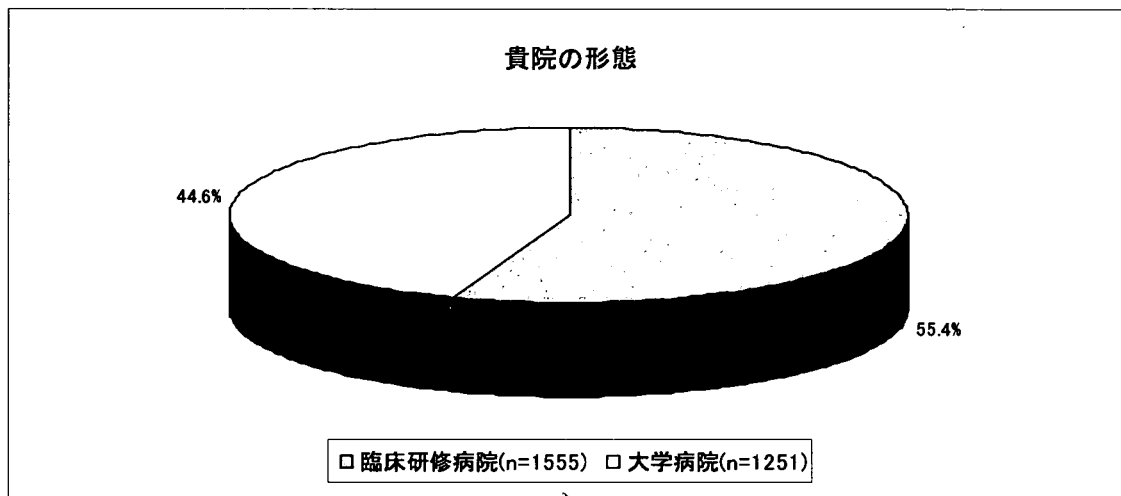
平均	27.9 歳
標準偏差	±3.0 歳
最大値	58 歳
不明	36 人
全体	2806 人

2) 質問項目の回答集計結果

臨床研修について (問1～問7)

(1) 勤務する病院の属性について (問1～問3)

問1 研修病院の形態



問3 研修プログラムを管理している病院の病床数別の規模

